

対 策 の 内 容		★パソコンの待機電力削減									
㊦ 運用対策 B 設備導入等対策	区分番号	1701、3810									
	小分類	事務用機器									
現 状	OA 機器を多数使用しているが、待機電力管理が行われていない。										
対 策 内 容	<ul style="list-style-type: none"> パソコンは電源を切っても待機電力を消費しているため、終業時にコンセントからプラグを抜くか、スイッチ付テーブルタップを取り付けてスイッチを切ることで、夜間時間帯の電源を遮断する。 										
の前提条件	①対象機器の台数及び稼働時の待機電力：下表のとおり										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>待機電力</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デスクトップ型</td> <td>2.82 W</td> <td>80 台</td> </tr> <tr> <td>ノート型</td> <td>0.61 W</td> <td>45 台</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：「平成 24 年度 エネルギー使用合理化促進基盤整備事業（待機時消費電力調査）報告書」（一財）省エネルギーセンター</p>				待機電力	台数	デスクトップ型	2.82 W	80 台	ノート型	0.61 W
	待機電力	台数									
デスクトップ型	2.82 W	80 台									
ノート型	0.61 W	45 台									
	②一日あたりの節電時間：14 h/日（18 時～8 時）										
	③稼働日数：242 日/年										
	④電力料金：17.2 円/kWh										
	⑤排出係数：0.475 t-CO ₂ /千 kWh										
地球温暖化 対策効果	〔削減エネルギー量〕										
	$(2.82 \text{ W} \times 80 + 0.61 \text{ W} \times 45) \times 14 \text{ h/日} \times 242 \text{ 日/年} = \underline{0.86 \text{ 千kWh/年}}$										
	〔削減金額〕										
	$0.86 \text{ 千 kWh/年} \times 17.2 \text{ 円/kWh} = \underline{14.8 \text{ 千円/年}}$										
	〔削減 CO ₂ 量〕										
	$0.86 \text{ 千 kWh/年} \times 0.475 \text{ t-CO}_2/\text{千 kWh} = \underline{0.4 \text{ t-CO}_2/\text{年}}$										